

# ポゾリス<sup>®</sup> 12N/12R

標準形 (I 種) 遅延形 (I 種)

## POZZOLITH<sup>®</sup> 12N/12R

### スランプロス低減型 AE 減水剤

ポゾリス 12N およびポゾリス 12R は、リグニンスルホン酸化合物とポリカルボン酸エーテルを主成分とする無塩化タイプの液状製品で、ポゾリス 12N は JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」の AE 減水剤・標準形 (I 種) に、ポゾリス 12R は遅延形 (I 種) に適合する混和剤です。

ポゾリス 12N とポゾリス 12R は、従来の AE 減水剤より高いスランプ保持性能を付与した新しいタイプの AE 減水剤で、特にセメント量の多い配合や暑中コンクリートの場合に、スランプロスの小さいコンクリートを容易に製造することができます。

#### 特長

1. 従来の AE 減水剤よりも経時によるスランプの低下を小さくすることができます。
2. 標準形と遅延形を使い分けることにより、暑中コンクリートへの対応やコンクリートの凝結時間をコントロールすることができます。
3. 耐久性に優れたコンクリートを製造することができます。

#### 成分および物性

種類	主成分	密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20°C)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
ポゾリス 12N	リグニンスルホン酸化合物と ポリカルボン酸エーテルの複合体	1.04~1.08	0.7	0.02
ポゾリス 12R		1.06~1.10	0.6	0.02

\*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

#### 用途

レディーミクストコンクリート、流動化コンクリート、単位水量を低減する必要がある耐久性に優れたコンクリートなど、一般の土木・建築用コンクリートからコンクリート製品まで幅広くご使用いただけます。

#### 使用量と使用方法

1. ポゾリス 12N およびポゾリス 12R の標準的な使用量は、それぞれセメント質量の 1% ですが、使用目的に応じて 0.8~1.5% の範囲でご使用ください。
2. 各剤は単位水量の一部となりますので、使用量に応じて練混ぜ水を補正してください。

#### 空気量の調整方法

ポゾリス 12N とポゾリス 12R には、いずれも空気連行性の異なる A のついたタイプ (A<sub>1</sub>、A<sub>2</sub>~A<sub>n</sub>) があります。「n」の値が 1 つ増すごとに空気量が 0.3~1.0% 程度順次多く連行するように調整されていますので、所要の空気量が得られるように試し練りによって適切な A タイプを決定してください。

なお、A タイプで所要の空気量が得られない場合、あるいは当社の AE 剤を本剤とは別途に計量して空気量を調整する場合には当社セールスマンにご相談ください。

## 性能

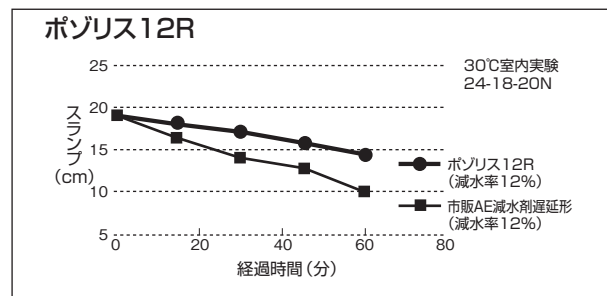
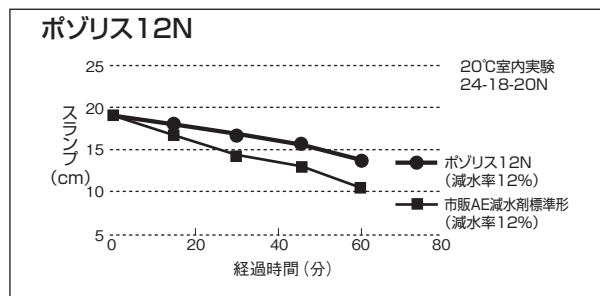
JIS A 6204による性能評価例

試験項目	ポゾリス12N			ポゾリス12R			
	AE減水剤標準形規定値	試験値	評価	AE減水剤遅延形規定値	試験値	評価	
減水率 (%)	10以上	12	適合	10以上	12	適合	
ブリーディング量の比 (%)	70以下	54	適合	70以下	52	適合	
凝結時間の差 (min)	始発	-60~+90	+20	適合	+60~+210	+90	適合
	終結	-60~+90	+20	適合	0~+210	+95	適合
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	110以上	124	適合	110以上	123	適合
	材齢28日	110以上	116	適合	110以上	117	適合
長さ変化比 (%)	120以下	100	適合	120以下	100	適合	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	99	適合	60以上	98	適合	

使用材料/セメント：普通ポルトランド3種混合  
細骨材：大井川水系陸砂（密度 2.60g/cm<sup>3</sup>、FM 2.67）

粗骨材：青梅産硬質砂岩砕石（密度 2.65g/cm<sup>3</sup>、MS 20mm）  
混和剤：ポゾリス 12N（C×1.0%）、ポゾリス 12R（C×1.0%）

## スランプの経時変化試験結果例



使用材料/セメント：普通ポルトランド3種混合  
細骨材：大井川水系陸砂（密度 2.60g/cm<sup>3</sup>、FM 2.67）

粗骨材：青梅産硬質砂岩砕石（密度 2.65g/cm<sup>3</sup>、MS 20mm）  
混和剤：ポゾリス 12N（C×1.0%）、ポゾリス 12R（C×1.0%）

## 使用および取扱上の注意事項

1. 本剤を推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ性状を確認するか、当社セールスマンにご相談ください。
2. 本品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように（凍結温度：-1℃）保管してください。
3. 凍結した場合には、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
4. 取扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
5. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
7. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、専門医の診察を受けてください。
8. 廃棄する場合は、都道府県知事の認可を受けた処理業者に処理を委託してください。
9. 使用および取扱いの前に、当社の製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

## 荷姿

21kgポリ内装箱、バルク



The Chemical Company

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

## BASF ポズリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980  
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244  
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273  
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487  
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515  
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505  
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218  
(松本・金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

[www.pozzolite.basf.co.jp](http://www.pozzolite.basf.co.jp)

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

